

都市環境学部・都市環境科学研究科ビジョン

大都市における人間社会の理想像の追求と先導的人材の育成

多面的で複雑な都市環境の探究と大都市の課題解決を指向し、基礎研究とともに分野を横断する総合的・文理融合的・応用的な研究に世界水準で取り組みます。都市環境を構成する人間、物質、エネルギー、情報、人工物、自然の各要素の深い探究と、要素間の相互作用を解明する能力を培い、真に実力を持つ先導的人材を育成します。

戦略1 世界水準の研究・教育拠点を形成

(1) 未来の都市環境を創出する基礎的・学際的・文理融合的な研究の推進

理・工系科学から人文・社会系科学にわたる研究科組織の特色を活かし、多面的で複雑な都市環境の課題解決に取り組み、教員各自の存在感溢れる世界水準の創造的な研究を育みます。また、都市環境科学の先進的な研究を推進するために、各分野（学域）にまたがる学際的研究プロジェクトや、海外の大学との人的交流・研究交流を奨励し、研究活動を支援します。教員それぞれが能力を発揮し、研究推進できる体制を整備するとともに、在外研究交流を促して、将来の研究基盤の強化・拡大を図ります。

(2) 大都市を牽引する真に実力のある人材の育成

アクティブ・ラーニングを取り入れた実践的な専門科目を展開するとともに、共通科目として都市環境の事象を多面的に捉える学域横断型講義の充実を図り、部局横断型の講義にも取り組みます。また、学域を超えた学位論文審査体制等、学域間の教育・研究連携を進め、さらには大学院生が学際的研究プロジェクトに参画し、複数の学域の教員から指導を受けて学位論文を完成させる制度の構築を目指します。

(3) 教育のグローバル化を推進

学生の外国語能力向上と海外留学促進に取り組み、大学間・部局間の学術交流協定等を活用して、交換留学を含む留学生派遣数及び留学生受入れ数を継続的に増加させ、留学生支援を拡充します。また、外国人教員の割合を増やし、研究科や学部の共通科目として外国人教員による英語講義を複数開設して、留学生と日本人との共修の機会を増やします。さらに、国際化には多様な文化・価値観の相互理解が不可欠なことから、留学生と日本人学生との交流を促進させる取り組みを支援し、国際社会に活躍できる人材を育成します。

(4) 多様な資質を持つ国内外の優秀な学生の受入れ

入学試験制度の問題点を点検し、入試別の入学後及び卒業後の追跡調査を行う等、優秀な学生の選抜を的確に行うために入試制度の改革を継続的に行います。学部・大学院のいずれについても、国内外から多様な資質を持つ優秀な入学志願者を確保するため、関係部署と連携して入試広報活動を実施します。

戦略2 研究成果の社会還元や産業界・東京都との連携を拡大・強化

(1) 生涯の学びをサポート

これまで蓄積してきた知的資源を、著書、論文、TMU プレミアム・カレッジ、オープンユニバーシティ、市民講座や Web 等を通じて従前以上に一般社会へ広く提供し、教員各自が積極的に社会の知的好奇心に応えます。また、大学院後期課程における社会人博士学生の入学を促進することにより、社会人の高度な学びを推進します。さらに、東京都と連携した「社会人の学び」事業にも貢献し、学習意欲の高い中高年齢層の学びをサポートします。

(2) 産学公の連携を推進・強化

都市環境科学研究科の多様性・文理融合を軸とし、基礎から応用、文系から理系にわたる多様な研究の社会実装による「真に豊かな持続可能都市」の創造を目指します。産業界、東京都との組織的連携を強化して産学公共同研究・委託研究を一層推進することによって、大学発の研究成果をイノベーション創出につなげます。

戦略3 都市環境科学の研究・教育拠点にふさわしい組織体制

(1) 研究・教育に専念できる時間の確保

研究・教育以外の業務が増加傾向にあると感じる教員が増えており、教員が研究に集中できる時間の確保が問題となっています。各種業務内容の見直し、大きくくり・長期的視点に立った計画立案を行い、教員が研究・教育に専念できる方策を検討・実施し、研究・教育に取り組む時間の割合（FTE: Full time equivalency）が最低でも 0.5 以上となることを目指します。そのために、部局においても事務処理体制の見直しや、委員会・会議の統合等の抜本的な改革を行います。

(2) グローバル化、ダイバーシティーに富む研究科の支援体制

若手教員による海外交流の充実や、留学生・外国人研究員・外国人教員の受入れ、学部生・大学院生の留学を推進する支援体制を強化します。また、ダイバーシティーに富む都市環境学部の特徴を生かし、異分野・国際的な共同研究を推進します。それに向けて学生・教職員・同窓生が一体となれる体制を構築し、多方面からの支援を可能とします。

(3) AI・ICT・IoT の積極的活用

AI（人工知能）・ICT（情報通信技術）・IoT（Internet of Things）を積極的に活用して研究・教育を効率的・効果的に展開するとともに、将来を見据え AI の上位に立つための人間力、状況に応じた多様な価値観と判断力の構築、これに基づく新たな価値を創成します。